

# 貸借対照表

平成23年3月31日現在

クラレビジネスサービス株式会社  
(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【資産の部】</b>		<b>【負債の部】</b>	
I. 流動資産	278,325,018	I. 流動負債	298,777,410
預金	10,000	買掛金	1,357,666
売掛金	31,797,170	リース債務	165,467,554
貯蔵品	9,000	未払金	32,001,790
仕掛品	5,187,000	未払費用	20,926,000
前払費用	25,909,167	未払法人税	1,511,100
未収入金	20,882,270	未払事業税	156,000
立替金	71,136	未払消費税等	8,167,600
預け金	194,459,275	預り金	189,700
		賞与引当金	69,000,000
		II. 固定負債	176,152,427
		リース債務	167,858,427
		役員退職慰労引当金	8,294,000
		負債の部合計	474,929,837
II. 固定資産	524,486,406	<b>【純資産の部】</b>	
1. 有形固定資産	324,070,531	I. 株主資本	327,881,587
工具器具備品	3,385,754	1. 資本金	100,000,000
リース資産(有形)	320,684,777	2. 資本剰余金	50,000,000
2. 無形固定資産	200,415,875	(1) 資本準備金	50,000,000
ソフトウェア仮勘定	7,091,290	3. 利益剰余金	177,881,587
ソフトウェア	193,191,235	(1) その他利益剰余金	177,881,587
リース資産(無形)	133,350	繰越利益剰余金	177,881,587
		(うち当期純損失)	(3,323)
		純資産の部合計	327,881,587
資産の部合計	802,811,424	負債の部及び純資産の部合計	802,811,424

## 個別注記表

クラレビジネスサービス株式会社

### 【重要な会計方針に係る事項に関する注記】

#### 1. たな卸資産の評価基準及び評価方法

仕掛品 ..... 個別原価法

#### 2. 固定資産の減価償却の方法

法人税法に規定する方法と同一の基準によっている。

##### (1)有形固定資産(リース資産を除く)

工具器具備品 ..... 定率法  
なお、取得価額が10万円以上20万円未満の資産については、3年間で均等償却する方法を採用している。

##### (2)無形固定資産(リース資産を除く)

ソフトウェア ..... 定額法  
自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づいている。

##### (3)リース資産

所有権移転外ファイナンスリース取引に係る資産 ..... リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。

#### 3. 引当金の計上基準

##### (1)貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

(追加情報)

一般債権に係る貸倒引当金は、従来法人税法の規定に基づく法定繰入率により算定した金額を計上していたが、平成22年度の税制改正(大法人の100%子会社等に対する中小企業向け特例措置の適用の見直し)に伴い、当会計年度から貸倒実績率により算出した金額を計上する方法に変更した。  
この変更により、当会計年度の営業外収益が1,970,000円増加し、経常利益及び税引前当期純利益がそれぞれ同額増加している。

##### (2)賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、賞与支給見込額のうち、当期負担分を計上している。

##### (3)役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に充てるため内規に基づく期末要支給額の100%相当額を計上している。

#### 4. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

### 【株主資本等変動計算書に関する注記】

#### 1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 ..... 2,000 株

以上